

提出日： 2023 年 5 月 29 日

## 研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文学部	教授	高橋宏明

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2022年4月 1日 ～ 2023年3月31日 2. 2022年9月 1日 ～ 2023年8月31日 3. 2022年4月 1日 ～ 2022年9月20日 4. 2022年9月21日 ～ 2023年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。 本研究期間では、第一にプノンペン国立文書館において 19 世紀後半～20 年世紀初頭のフランス理事長官府文書(特に徴税官ファイル、徴税簿、州別年次報告書、村落報告書など)の文献調査および資料収集を実施した。第二にプノンペン国立博物館資料室にて同博物館が所蔵する 1960 年代シハヌーク時代の官報、雑誌、新聞等の文献調査および資料収集を行った。そして第三に、シエムリアプ州のアンコール遺跡、コンポントム州のサンポール・プレイ・クック遺跡、プレアヴィヒア州のプレアヴィヒア寺院を回り、各世界文化遺産の保存修復活動の進捗状況について調査した。
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。 プノンペン国立文書館におけるフランス理事長官府文書の文献調査では、年次報告書(1904～1916 年)、各理事管区の徴税簿(1901～1910 年)、徴税官ファイル(1902～1919 年)などを収集した。20 世紀初頭は、フランス統治期カンボジア王国の地方社会に新たな税制度が導入される時期であった。同文書類は、地方への徴税制度の浸透過程とその実態を解明する手掛かりとなる重要な史料である。同史料の分析を通じて 20 世紀初頭における地方社会の実相と伝統的な徴税官の役割の変化などを明らかにすることが可能となった。今年度中に学会等で発表を行い、論文としてまとめる予定である。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。 2023 年 3 月までに収集したフランス理事長官府文書、年次報告書、各理事管区の徴税簿、徴税官(Achnhaluong)のファイルなどを分析し、フランス統治期カンボジア保護王国における徴税制度の地方社会への拡大と確立の経緯を明らかにしたいと考えている。20 世紀初頭は、カンボジア保護王国の領域的再編の時期にあたり、1904 年にタイからメルプレイ、トンレルプーの 2 州、1907 年にバタンバン、シソポン、シエムリアプの 3 州が編入され、近代カンボジア王国の「新しい国家領域」が誕生した。当該地域の地方行政組織が再編成される同時に、新しい租税制度が段階的に導入されていくと考えられる。フランスによる統治の本格化・実体化を、徴税制度の観点から解明する。